

## 設 立 趣 旨 書

岐阜県は、古くから「飛山濃水」の地と呼ばれ、山と水が織りなす豊かな自然や美しい田園風景、豊かな風土に育まれた農産物、匠の技によって作り出された地場産品など、全国に誇れる魅力ある資源を有しており、こうした資源は岐阜県を訪れる人々を魅了する貴重な財産です。

岐阜県の農山村地域では、こうした資源に触れ、地域の人々との交流を楽しむ、いわゆるグリーン・ツーリズムの取組みが展開されており、交流・体験活動を通じた交流人口も増加傾向にあります。

特に、近年では、都市に住む若者が、農山村地域の美しい景観や豊かな自然に関心を持ち、新たなライフスタイルを求める「田園回帰」志向の広がりや、外国人観光客の急激な増加など、グリーン・ツーリズムを取り巻く環境は大きく変化しています。

岐阜県では、平成17年1月に「岐阜県グリーン・ツーリズム推進連絡会議」が発足され、県主導により大都市圏での情報発信や人材育成など受入体制の整備が行われてきました。しかしながら、農山村地域に対する多様なニーズに迅速かつ柔軟に対応するためには、グリーン・ツーリズムに取り組むものが自ら考え、主体的に行動するための仕組みを作り上げることが必要となっています。

そこで、この度、県内のグリーン・ツーリズムの実践者が中心となり、農業団体、旅行会社などと連携し、多様なニーズに対応した「ぎふらしい」「ぎふならではの」のグリーン・ツーリズムを実現するため、『「ぎふの田舎へいこう!」推進協議会』を設立します。

平成29年5月16日

「ぎふの田舎へいこう!」推進協議会

設立発起人一同